

## 広島市立北部医療センター安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	子宮頸部上皮内腫瘍に対する腹腔鏡下手術を施行した閉経後患者を対象とした、術前後の病理組織検査結果についての後方視的研究
研究責任者 (所属科名)	福田 修司 (産婦人科)
本研究の目的・意義	子宮頸部上皮内腫瘍に対する標準治療は円錐切除術であるが、閉経後患者においてはその合併症や手術難度が問題となる。これらの症例に対しては単純子宮全摘術を施行することがあるが、術後病理組織検査で術前評価では検出されなかった浸潤癌が診断されることが課題である。今回、子宮頸部上皮内腫瘍に対して、当院で主に行われている腹腔鏡下子宮全摘術施行後の、病理組織検査の術前後における比較・検討を後方視的に行うことで、当院での腹腔鏡下手術の現状や妥当性等の把握とともに、術後に浸潤癌への upstage を防止する方法を考察する。
調査方法・研究期間	後ろ向き観察研究 データ収集期間：2020年1月～2024年3月 研究期間：2024年11月までを予定しています。
該当資料・データ	★対象となる患者様 2020年1月～2024年3月までに安佐市民病院産婦人科にて子宮頸部上皮内に対する腹腔鏡下子宮全摘術を実施された方。 ★利用する情報 電子カルテに記載のある患者さまの年齢、手術記録、これまでの治療経過、コルポスコピー所見、術前の子宮頸部細胞診・組織診、MRI検査データ、術後病理組織検査データ、術後子宮頸部細胞診を利用します。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は論文で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
共同研究機関	なし
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：082-815-5211 (北部医療センター安佐市民病院 代表) 担当者：福田 修司(産婦人科：専攻医)